

## 5. 生物材料の取り扱い

### 5- 1. 生物材料等

#### 実験動物を使用する場合

- ・ 「山口大学理学部における動物実験のための指針」に従って取り扱う。
- ・ 使用した日付、数量などを記録しておくこと。
- ・ 病原体感染のおそれの無いように心掛ける。

#### その他生物の取り扱い

- ・ 野外からの野生動物の持ち込みに関しては、取扱に注意する。
- ・ 野外等から微生物などを持ち込んで培養する場合、未知のものについては、取り扱いや保存に充分注意する。
- ・ 突然変異株などでも、大量に野外へ放出することは、生態系攪乱へ繋がる可能性も無しとは言えないので、慎むこと。研究としての実施を計画した場合には、山口大学理学部「動物実験委員会」に相談する。

#### 「組換えDNA実験」および「組換えDNA実験に準ずる実験」

- ・ 「大学等における組換えDNA実験指針」（文部科学省）、「国立大学法人山口大学組換えDNA実験安全管理規則」、「組換えDNA実験安全審査及び実験計画書等の記入方法について」（委員会申し合わせ）に従って正しく実施する。これらは、人文・理学部総務企画係に常備されているので読むことができる。
- ・ 組換えDNA実験安全主任者（17年度は村上柳太郎）に相談する。
- ・ 学外で行う場合も、遺漏の無いよう心掛けること。

### 5- 2. 特殊装置など

#### 蛍光顕微鏡

- ・ 目や皮膚に紫外線を浴びないように、適当な吸光フィルター、遮蔽板を使用する。ランプハウスから漏れる紫外線にも注意する。
- ・ 長時間の使用は目を傷めるのでなるべく避ける。

### 5- 3. 実験器具の廃棄に関する注意事項

- ・注射器、注射針の廃棄にあたっては、他のプラスチック、ガラス器具、金属製品類とは区別して慎重に扱う。針が突き破って出ないように硬い容器に納め、内容を明示した上で、定められた回収ルートに乗せて廃棄する。

### 5- 4. 無菌操作

- ・目や皮膚に紫外線を浴びないように、殺菌灯を消して作業を行う。  
ガスバーナーの火が消毒用アルコールに引火しないよう注意する。